

第16回  
嬉野市塩田庁舎等利活用検討委員会 資料

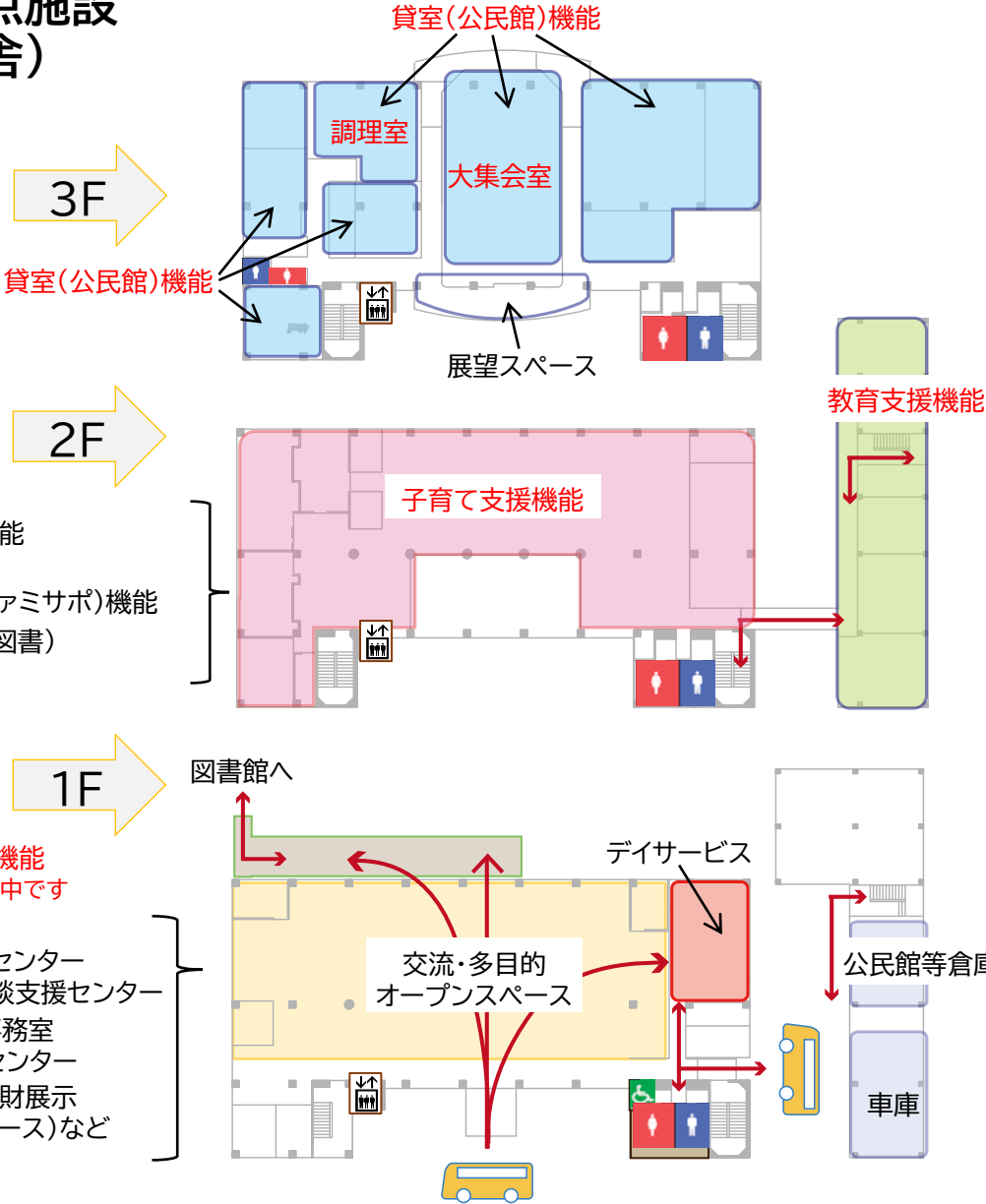
- ① 地域交流拠点施設(仮)の概算費用について
- ② 交流・多目的オープンスペースのイメージ
- ③ 敷地(案)について
- ④ 官民連携で実現したい「子育て支援機能」への要求事項について

令和7年7月16日

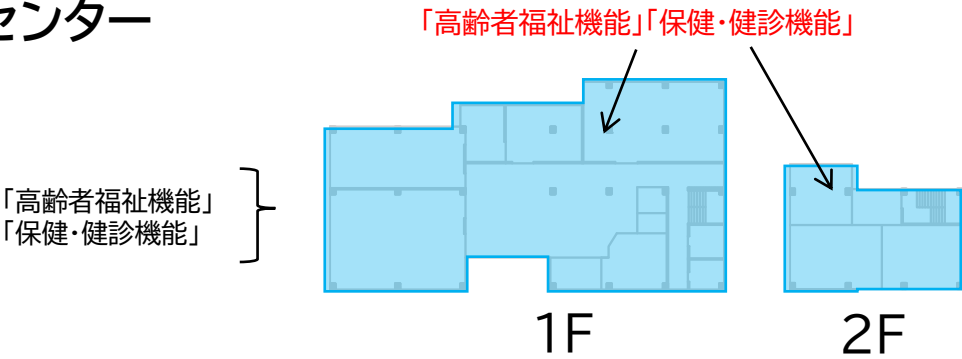
① 地域交流拠点施設改修の概算について

- 塩田庁舎は、庁舎の窓口機能の他、各種相談窓口や関係団体の事務スペースを確保し、相談拠点としての機能を持つほか、塩田公民館のサービスを移転するとともに、子育て支援機能などを集約した、地域の核となる地域交流拠点施設として複合施設への改修を行い、にぎわい創出事業として官民連携の施設づくりを進めます。
- 保健センターは、がん検診・子ども健診等の実施日以外は、高齢者福祉事業を実施するなど、高齢者福祉事業、保健・健康増進事業の「実施の場所」として機能を集約をする予定です。

地域交流拠点施設  
(塩田庁舎)



保健センター



地域交流拠点施設の概算改修費

項目	概算費用(千円)	備考
塩田庁舎改修	400,000	大規模改修及び以下事業に伴う改修の概算 3階貸室(議場床・調理室新設) 2階官民連携事業・教育支援機能 1階交流・多目的オープンスペース、デイサービス トイレ改修
外構(図書館通路)	14,000	図書館デッキの設置
外構(1F駐車場及び塩田公民館跡地)	220,000	広場化に伴う工事
合計	634,000	

改修費の参考事例

自治体名	佐賀県嬉野市	佐賀県神埼市	会津若松市
施設名	地域交流拠点施設(仮)	千代田交流センター	栄町第二庁舎
建築年	1993年	1995年	1998年
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄骨造
階層	4階	3階	2階
延床面積	4,081㎡	3,719 ㎡	2,994㎡
改修概要	庁舎を複合施設へ改修	庁舎を複合施設へ改修	庁舎を複合施設へ改修
概算改修費	約4億	約3億	約2.7億

## ② 1階交流・多目的オープンスペースのイメージ 1/2

- 詳細な計画は基本設計にて行われますが、概ねのイメージを見える化しました。
  - 交流・多目的オープンスペースを中心に空間を構成した場合、どのような雰囲気となるかを共有するためのイメージです。
- ※改修後のイメージを共有して頂くためのもので、配置などは決定したものではありません。

### □ 窓口・待合空間

そのままオープンスペースで相談したり、専用スペースで嬉野庁舎の職員とリモート相談ができるスペースや、個別のブースなどが想定されます。

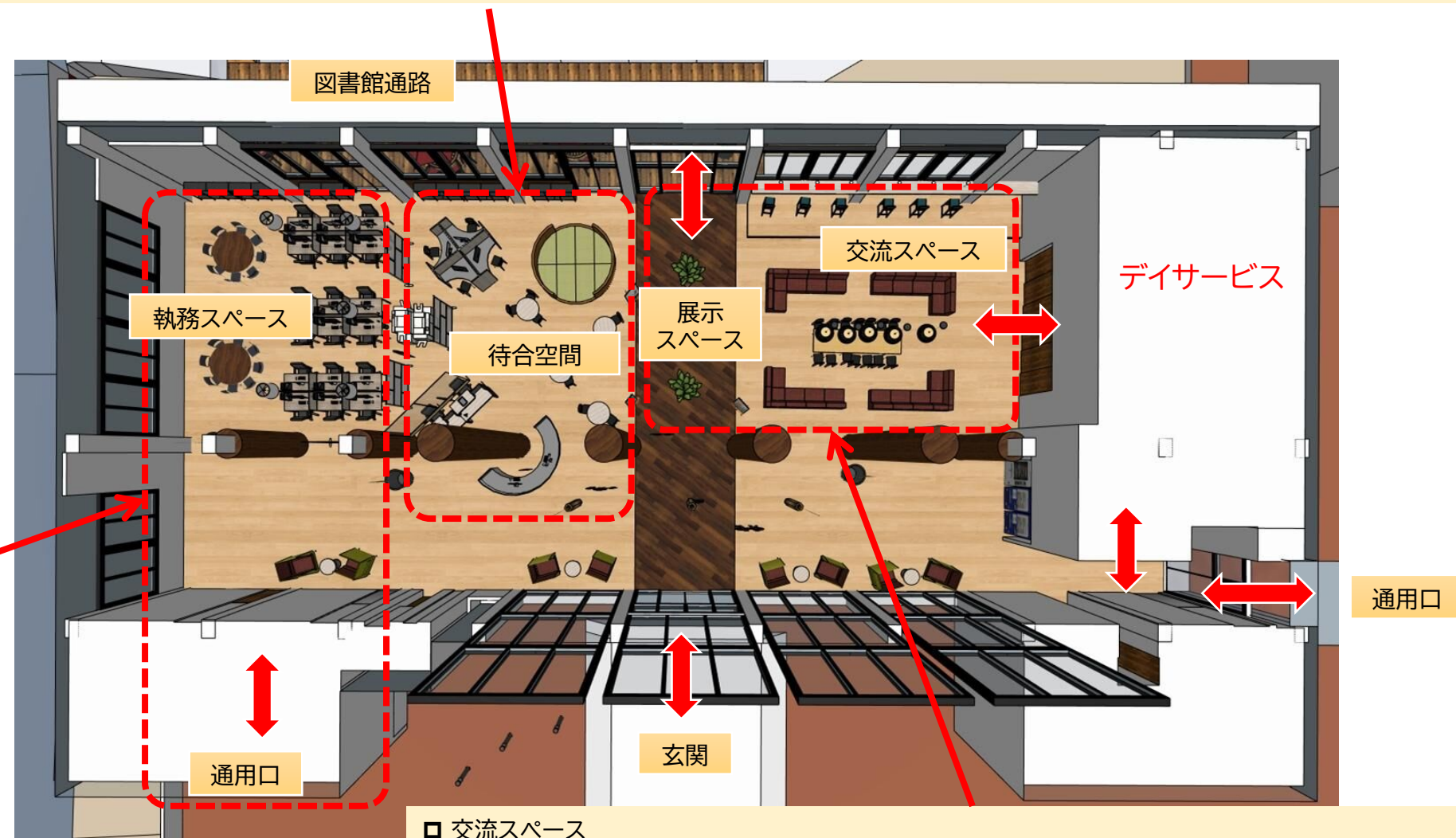
待合空間はオープンスペースを兼ねます。

待ち時間に充電やメモ作業ができるように、テーブル席などを配置し、自由に移動できるスタッキングチェアやテーブルで、可変性がある空間が想定されます。

行政窓口  
地域包括支援センター  
障がい者等相談支援センター  
社協事務所  
公民館事務所  
シルバー人材センター  
その他(相談ブース)など

### □ 執務スペース

職員が働きやすく、来庁者へもアクセスしやすいレイアウトが想定されます。



### □ 交流スペース

様々なイベントが行え、多くの市民が交流できるスペースとして、ワークショップが可能な協働スペースや展示スペースなどが想定されます。

協働スペースには、少し大き目のテーブルを配置したり、ソファなどでゆっくりと過ごせる空間があります。また、塩田津の歴史資料や公民館活動の成果、創作発表ができる空間や、町の魅力や地域活動、チラシ等周知啓発物などの情報発信ができるスペースを確保します

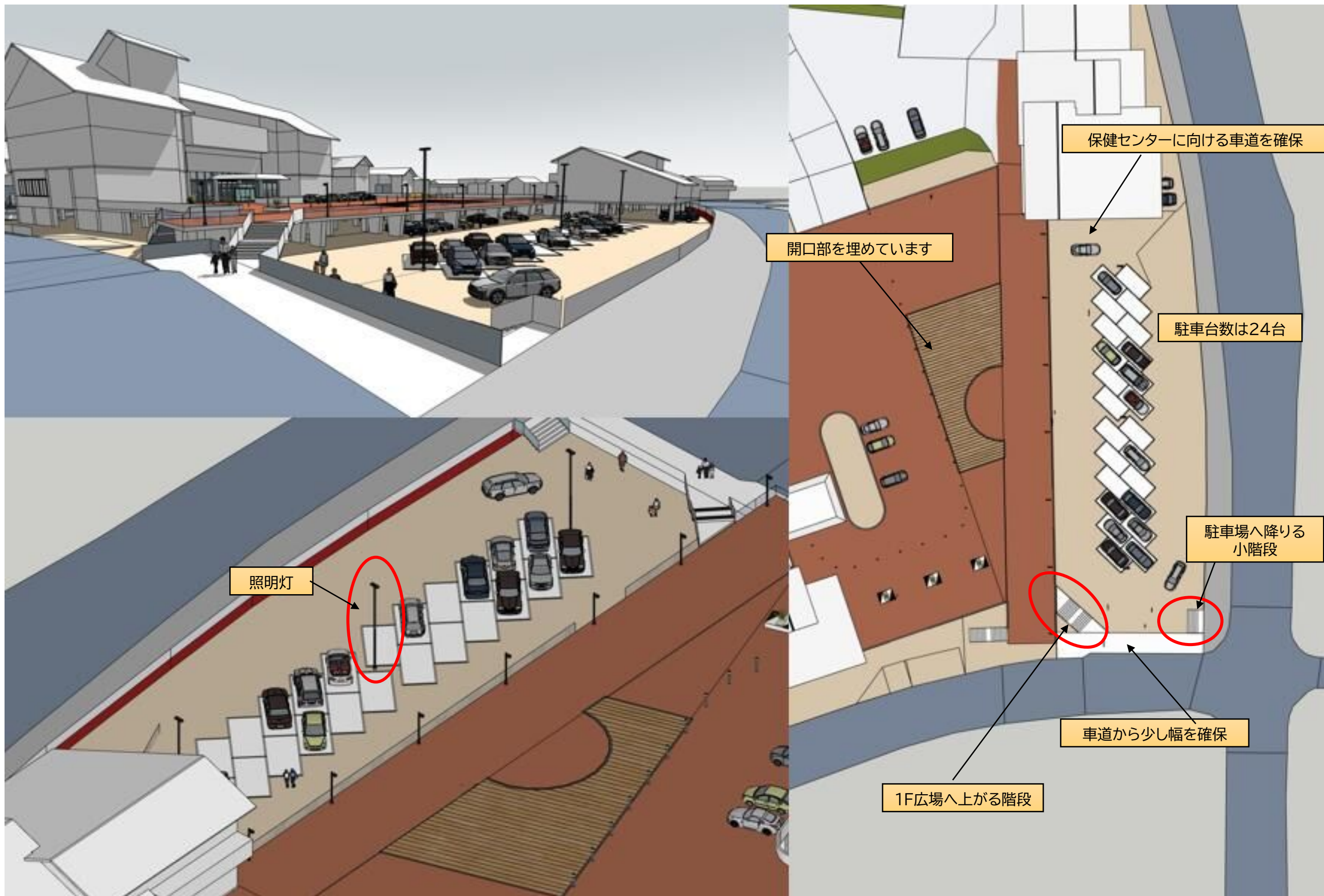


## ② 1階交流・多目的オープンスペースのイメージ 2/2





③ 敷地(案)について **A案** 1F駐車場(イベント広場)+駐車場(跡地)

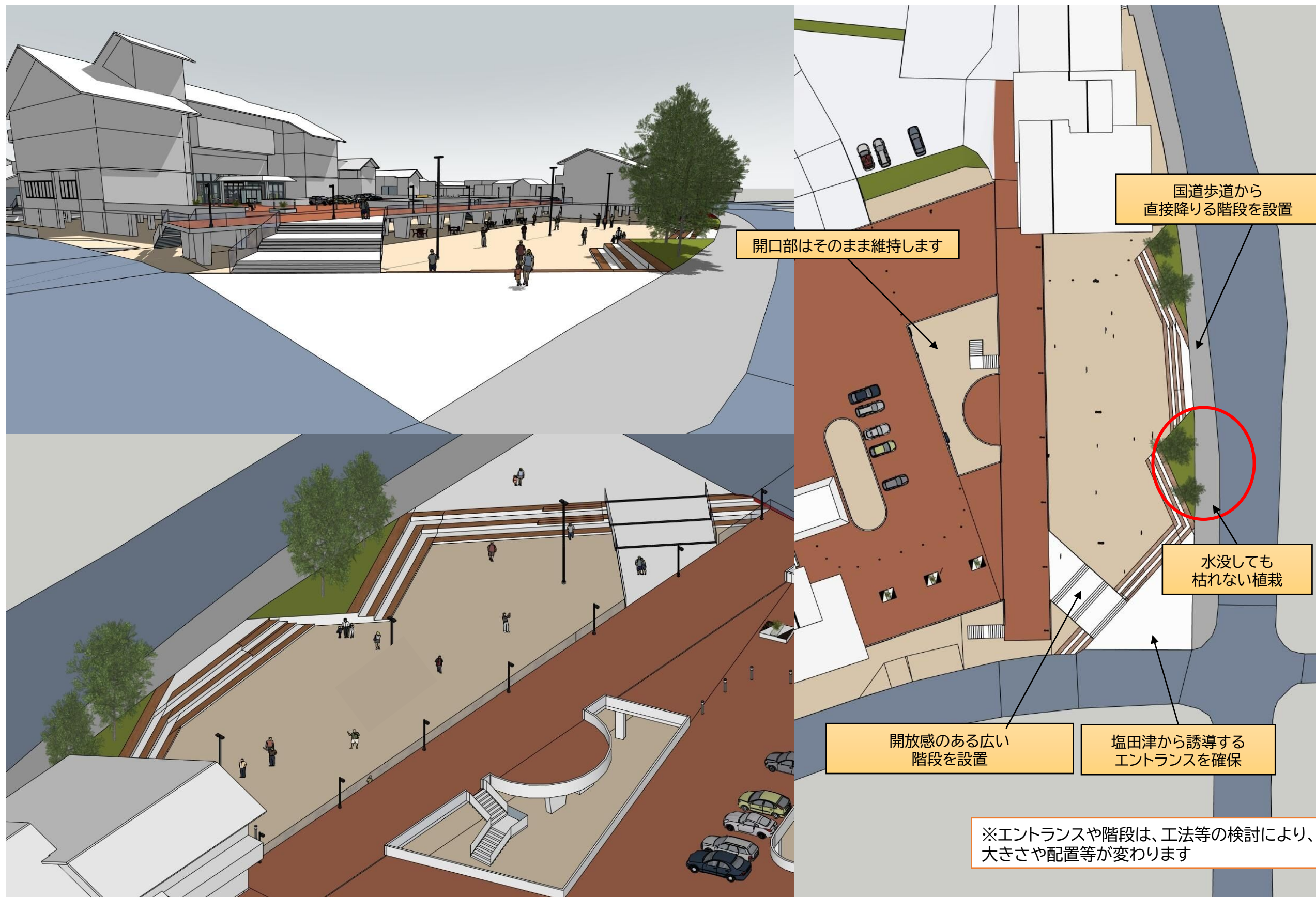


## 1F駐車場(イベント広場)での活用イメージ



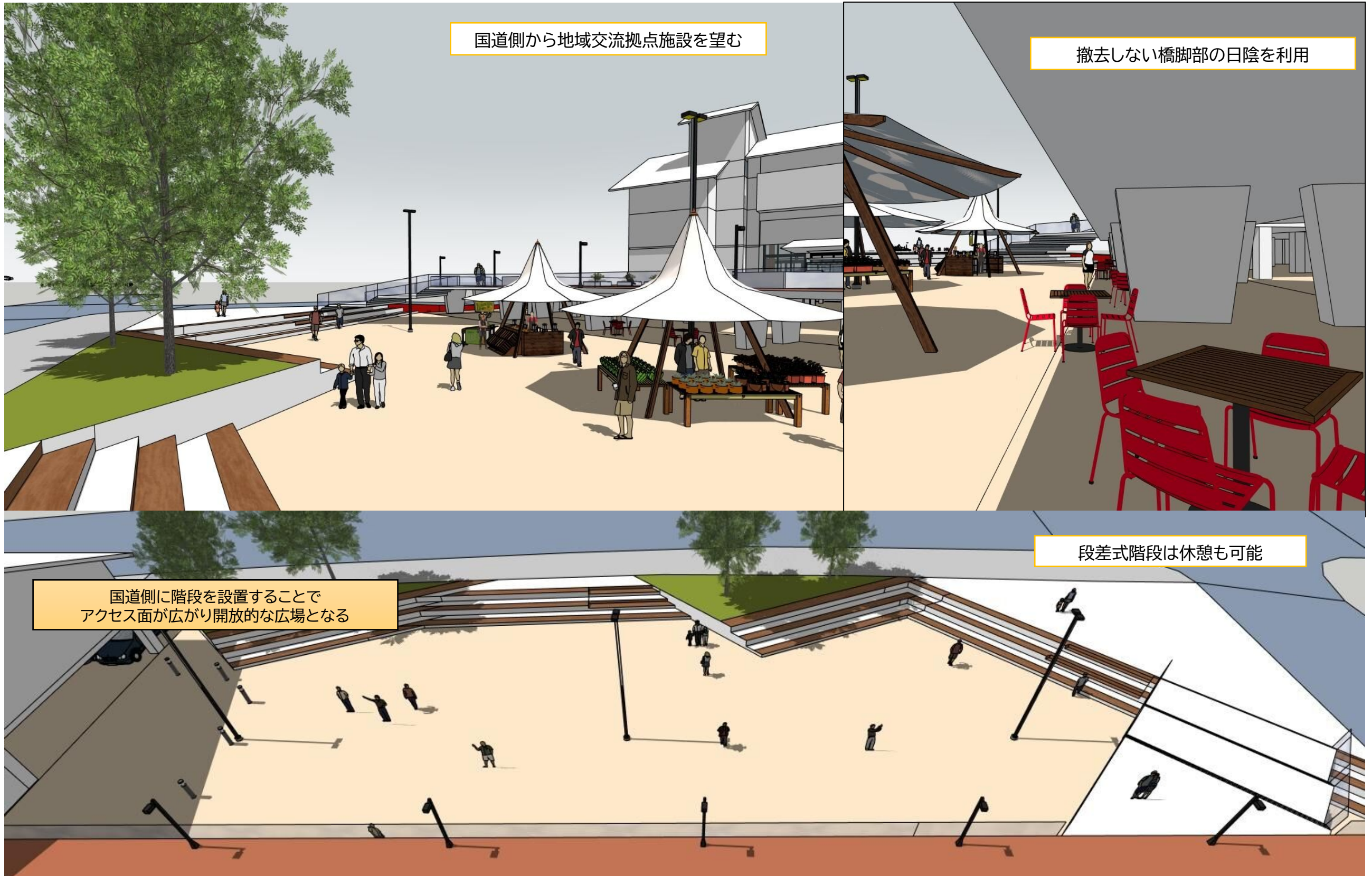


### ③ 敷地(案)について **B案** 1F駐車場(イベント広場) + 多目的広場(跡地)



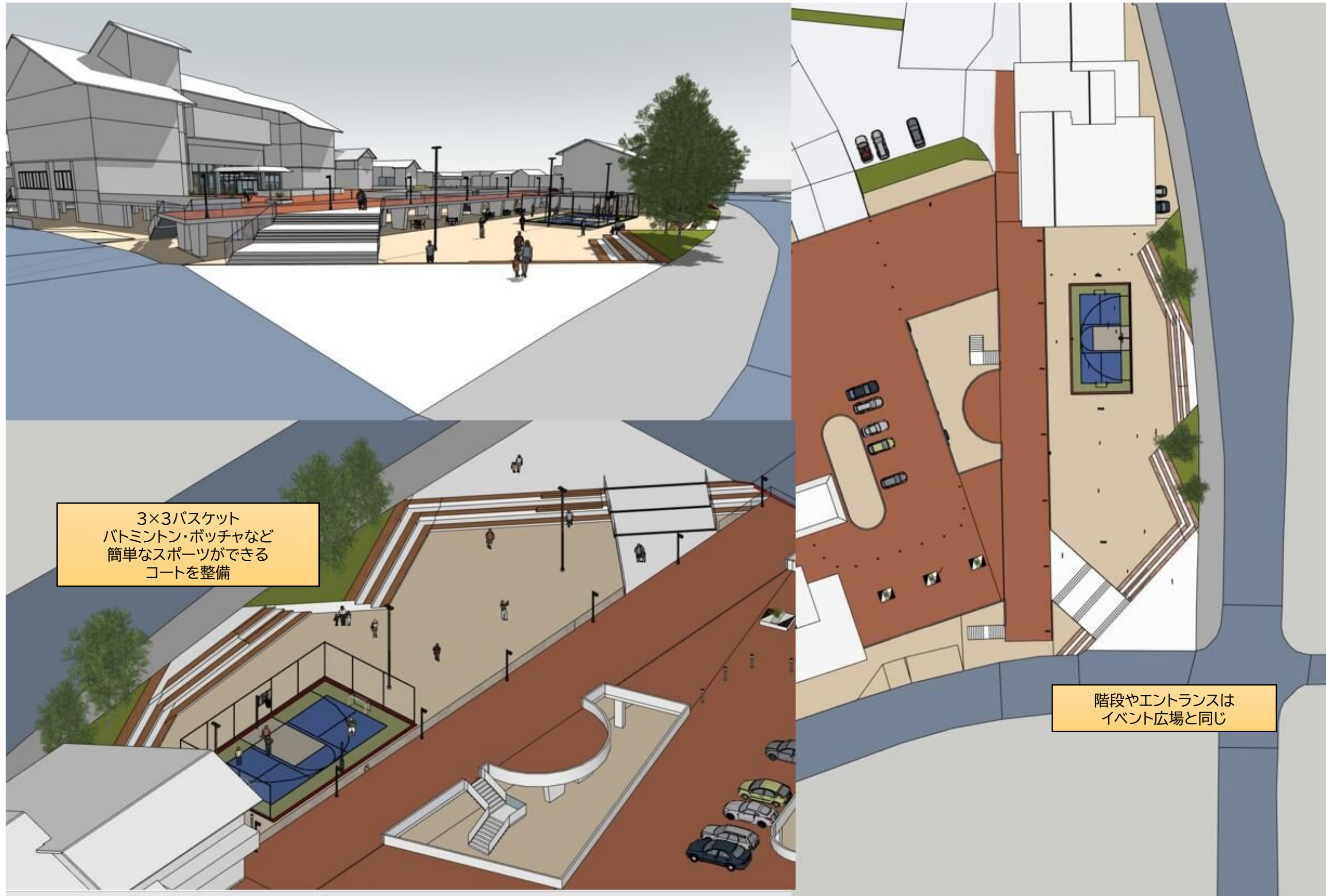


## 底地を活用した多目的広場のイメージ





③ 敷地(案)について **C案** 1F駐車場(イベント広場) + スポーツ広場(跡地)





## スポーツ広場のイメージ





### ③ 敷地(案)について **D案** 1F駐車場(イベント広場) + 緑の広場(跡地)





夜には間接照明で木を照らすことで  
安全性を高め、新しい景観を創出

日陰空間を多く作る設計

植木升をテーブルとして活用し  
食事や読書ができるスペースとする



③ 敷地(案)について **E案** 1F駐車場(イベント広場) + 嵩上げ広場(跡地)



③ 敷地(案)について 各案の比較

対象敷地面積:約1,950㎡  
条件:貯水機能を持つことから、貯水機能を失わず整備する必要がある

	底地を活用				人工的に嵩上げ
	A案	B案	C案	D案	E案
跡地の機能	駐車場	広場(多目的に活用)	広場(一部にコートを設置)	広場(一部に植栽を配置)	広場(嵩上げ)
活用イメージ	駐車場として整備	底地を広場として活用 イベントでの活用も可能 撤去可能なイスやテーブルの配置	底地を広場として活用 一部、スポーツができるコートを配置 撤去可能なイスやテーブルの配置	底地を広場として活用 一部、植栽を配置し、日陰空間を作る 撤去可能な椅子やテーブルを配置 夜間は間接照明などで 安全性と新しい景観を創出	ウッドデッキなどで 浸水しない高さまで嵩上げし 段差のある広場として活用 イベントでの活用も可能 撤去可能な椅子やテーブルを配置
概要	長崎街道側に歩道を兼ねた道幅を確保 駐車場へ降りる階段と 1F駐車場へ上がる階段の設置 塩田公民館前の開口部は閉鎖し、 1Fの広場面積を増やす。	多目的広場としてイベントなどにも活用 塩田津から誘導するエントランスを作る 1F駐車場への幅員の広い階段を設置 国道側に腰掛けられる階段を設置 塩田公民館前の陸橋下の日陰を 活用し休憩できる。	多目的広場の一部に スポーツができるコートを設置 塩田津から誘導するエントランスを作る 1F駐車場への幅員の広い階段を設置 国道側に腰掛けられる階段を設置 塩田公民館前の陸橋下の日陰を 活用し休憩できる。	多目的広場の一部に 日陰を作る植栽を配置 エントランス、階段棟はC・B案と同じ 植木升の外周はイスやテーブルとして活用 塩田公民館前の陸橋下の日陰と合わせ 休憩できる日陰を多く作る	多目的広場としてイベントなどにも活用 塩田津から誘導するエントランスから 1F駐車場へ上がる階段と融合した形で 嵩上げの空間を作る。 高低差のある空間を
課題	リニューアル感が弱い 1Fも駐車場があり、 駐車スペースは、地下部分で賄えている。 塩田津から地域交流施設へ行く 導線としての意味合いが弱い	階段を設置した分、 貯水の確保を考慮する必要がある。 ガーデンパラソルなど 日傘を作る工夫が必要	階段を設置した分、 貯水の確保を考慮する必要がある。 ガーデンパラソルなど 日傘を作る工夫が必要 国道横の為、限定されたスポーツとなる フェンス・照明などの設置と維持管理 コート貸し出しの管理が発生	階段を設置した分、 貯水の確保を考慮する必要がある。 浸水でも枯れない樹木の選定 植栽の維持管理 夜間やイベント時の照明の管理	嵩上げ自体にコストがかかり、 コストパフォーマンスが悪い
多世代の住民の利用	△	○	△	○	○
にぎわい創出	△	○	○	○	○
日常的な利用	○	○	○	○	△
概算コスト	190,000千円	200,000千円～220,000千円			261,000千円
工期	○	○	○	○	○
総評	塩田公民館前の開口部を塞ぐことで イベント時の空間が広がる 駐車台数は地下駐車場で確保されており、 にぎわい創出につながりにくい	塩田公民館前の陸橋の日陰が活用できるが 広場部分にガーデンパラソルなど 日傘を作る工夫が必要 多世代で利用でき、塩田津観光客の休憩や 地域交流性施設への誘導も図れる。	塩田公民館前の陸橋の日陰が活用できが 広場部分にガーデンパラソルなど 日傘を作る工夫が必要 利用がスポーツに限定されるが 利用率が上げればにぎわいにつながる	塩田公民館前の陸橋の日陰が活用できる。 休憩ができる緑地広場として 多世代で利用でき、塩田津観光客の休憩や 地域交流性施設への誘導も図れる。 間接照明などで新しい景観を創出できる	浸水時につからない平面を確保できるが、 嵩上げ自体に多くのコストがかかる。 コストを抑えると十分な広さを確保できない。

- ❑ エントランス・階段スペースは、基本設計段階での大きさやデザインが変更になることがあります。
- ❑ 現段階では、この場所がどのようなスペースになれば、地域にとって良いのかという視点で、ご意見を頂ければと思います。



## ④ 官民連携で実現したい「子育て支援機能」への要求事項について

### 官民連携で実現したい「子育て支援機能」への要求事項

要求事項は、官民連携事業の性能発注の条件の参考とします。

#### 1. 基本的な施設機能

- 活動や遊具が多様で、市内外からの子育て世代もが行きたくくなるような施設整備
- 子どもの居場所も含め幅広い子どもに対応できる施設
- 清潔で安全な環境の確保(定期的な清掃・消毒)
- ベビーカーや車いすでも入りやすいバリアフリー設計
- おむつ替えスペースや授乳室の充実
- 子どもトイレの設置
- 年齢に応じた遊具や絵本を充実
- 安心して遊ばせられる見守りスペースの設置
- 転んで遊べるスペースの確保
- 保護者がくつろぐスペース
- 育児や子育てに関する相談スペース
- スタッフルームの設置(打合せ・反省会・資料づくり)

#### 2. 実施するサービス

- 天候に左右されなく外遊び相当な遊べる場所の提供
- これまで実施してきたリュッケ(子育て相談機能)のサービスの継続
- 新しいサービスについてはスタッフの確保
- 年齢別の遊び・交流プログラムの提供(0～1歳、2～3歳など)
- 保護者向けの子育て講座や交流会の開催
- 子どもと一緒に楽しめる季節イベントやワークショップの開催
- 育児相談やカウンセリングの実施(常設または予約制)

#### 3. 運営面

- 開館時間の柔軟性(他の施設内サービスとの調整・セキュリティ)の確保
- 利用予約の簡便化(Web予約やLINE予約対応など)対応
- イベント情報や日々の活動紹介などの充実(携帯で見れる)
- 一時預かりサービスの拡充